



本物の天然竹繊維を使っています

京の竹ちりめん

製品の特徴

1. 環境保護＝CO₂削減：京都府の放置竹林の竹を活用して、繊維を取り出しています。厄介者の竹が有用なバイオマスになります。 2. エコロジカルな素材：高度な化学処理なしに、主として、機械的方法で竹繊維を取り出します。環境への負荷を最小限に抑えます。 3. 抗菌性：竹から抽出した抗菌物質を含むことにより、抗菌性が発揮できます。 4. 断熱性：コットンと混紡された竹繊維が、紡績糸の中に空間を作り、断熱性を高めます。 5. 消臭性：竹繊維の消臭性により、化学繊維に無い消臭性が発揮できます。 6. 二重の温かさ：竹繊維には遠赤外効果があると言われています。



手紡ぎ(風)竹絹糸



絹の輝きと麻の風合い



新しい風 竹微細繊維/コットン混紡糸

製品が誕生した背景

現在、「竹繊維」と謳って市販されている繊維は天然竹繊維ではありません。竹のパルプを化学薬品で溶かし、これを特殊培液中で繊維化した再生セルロース繊維（レーヨン）で、竹繊維と呼ぶことはできません。しかし、竹には繊維があります。当社ではコットンとの混紡により、竹の特徴を無くすことなく、京都の真竹、孟宗竹、淡竹から取り出した天然の竹繊維紡績糸と実用することに成功しました。コットン以外に、絹と混紡すれば、絹の光沢と、麻の趣を持った全く新しい感性をもつ紡績糸もできました。

こんな時に活用できます！

京都の竹を使った竹繊維紡績糸は世界にありません。①アパレル分野で新しい素材として活用頂けます。京都が体験できます。②帆布も作れます。スニーカーに使えます。ジーンズに使えます。③荒い竹繊維を使えば、ランチョンマット、乾布摩擦用布にも使えます。使い方は自由です。組み合わせも無限です。

合同会社 竹繊維研究所

2年前、竹繊維を愛する有志により設立されました。麻の専門家が代表です。紡績に詳しいメンバー、地元の竹を活用したいと考えるメンバー、大学で竹を研究していたメンバー、混紡糸の基本特許を持つメンバーなどが核となって技術開発と販路開発を支えています。

〒629-0151
京都府南丹市八木町南広瀬中川原28

TEL 090-3723-3778

FAX —

URL —

EMAIL —